

第3回 標準委員会 発電炉部会
統計的安全評価手法標準分科会 P9SC3
議事録

日時 2006年4月18日（火） 13:30 ～ 17:00

場所 日本原子力技術協会 A・B会議室

出席者 三島主査、山口副主査、笠井幹事、江畑委員、大澤委員、影山委員、鈴木委員、
田中委員、古川委員、堀田委員、松浦委員、松本委員、金居田委員代理、
綿田委員、渡辺委員

常時参加者 藤井（関西電力）、溝上（東京電力）、村田（日立）、梅澤(MHI)、坂場(MHI)、金子（GNF-J）、鈴木
（原燃工）、米原（原技協）

傍聴者 吉村（原子力安全委員会事務局技術参与）、電力・メーカ関係者
（敬称略）

配布資料

第3回 統計的安全評価手法標準分科会(P9SC3) 議事次第

P9SC3-1：第2回統計的安全評価手法標準分科会P9SC2 議事録（案）

P9SC3-2：統計的安全評価手法分科会の進め方について

P9SC3-3：課題整理表

P9SC3-4：標準案における用語の定義（案）

P9SC3-5：適用範囲

P9SC3-6：統計手法の一覧

P9SC3-7：入力データ等の不確定性分布設定方法について

議事及び主な質疑応答

(1) 常時参加者追加の承認

笠井幹事より、米原氏、梅澤氏を常時参加者とする提案があり、承認された。

(2) 議事録の確認

笠井幹事より、P9SC3-1「第2回統計的安全評価手法標準分科会P9SC2 議事録（案）」に基づいて、前回分科会の議事録の確認が行われた。

字句修正し、前回分科会では常時参加者ではなかった梅澤氏の名前を削除するとした上で、承認された。

(3) 課題整理表の説明

笠井幹事より、P9SC3-3「課題整理表」を用いて、前回分科会で出された課題のまとめの確認があり、今後も順次、課題の整理・追加をしていくとの説明があった。

(4) 用語の定義の説明

P9SC3-4「標準案における用語の定義（案）」に基づいて、松本委員より、標準に関係する用語の説明があった。三島主査より、「標準案における用語の定義（案）」が、標準を策定する上で分科会として共通認識を持つためのものである旨の補足説明があった。今後も順次、記載のブラッシュアップと追加を行っていくことになった。

(5) 適用範囲の説明

P9SC3-5「適用範囲」に基づいて、常時参加者の坂場氏より、標準の適用範囲の説明があった。手法を適用する炉型に関して、「発電用軽水型原子炉施設に関する安全設計審査指針」と「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」を引用した記載とするかについて、再度検討することになった。また、添付された資料（PWR、BWRそれぞれへの適用状況の表）は、文案検討に資するための参考資料であることを確認した。

(6) 統計手法の説明

P9SC3-6「統計手法の一覧」を用いて、常時参加者の坂場氏より、統計手法についての説明があった。また、評価モデルの1つとして、順序統計法の理論についての解説があった。

(7) 入力データ等の不確定性分布設定方法の説明

P9SC3-7「入力データ等の不確定性分布設定方法について」を用いて、常時参加者の坂場氏より、不確定性分布設定方法についての説明があった。統計的安全評価手法の中でのPIRT作成の意味について意見が交わされた。山口副主査から、PIRTのうち、PI(Phenomena Identification)とRT(Ranking Table)のそれぞれの位置づけ・特徴を明確にする必要がある旨の提言があった。

(8) その他

笠井幹事より、次回分科会を6/13（火）に開催することの確認があった。また、次々回を8/8（火）に仮決めした。

以上